

別紙

市民意見提出手続実施結果

1 意見提出者数及び意見提出件数

意見提出者数	直接	0人
	郵送	0人
	ファックス	0人
	メール	0人
	ホームページ	1人
	計	1人
意見提出件数	直接	0件
	郵送	0件
	ファックス	0件
	メール	0件
	ホームページ	1件
	計	1件
意見反映件数	1件中	0件

2 お寄せいただいた意見の概要とそれに対する市の機関の考え方

(1) 推進項目及び取組について

意見の概要	市の機関の考え方
<p>取組</p> <p>推進項目 1 自主財源の確保</p> <p>これでほぼ決まるでしょう。</p> <p>一方で税収は限度があるので期待できません。</p> <p>推進項目 2～5 はどれもスリム化、効率化を目標に多方面で取り組む、ということですからそれも限界があります。</p> <p>大綱によると春日部市は過去 15 年でスマートな効率化をしたらしいですが、データによると期間ごとの実績は半減しています。</p> <p>当たり前のはなしで、ただでさえ痩せている人に対して、もっとスリムを要求しても無理というもの。</p> <p>市役所職員の数は県平均の 7/9 ほどと、少数となっていますから、みなさん多忙でしょうし、これ以上スリムを追及しても運営に支障がでては本末転倒です。</p> <p>話を戻して、自主財源の確保</p> <p>これには PPP がもっとも重要かと。</p> <p>現代の経済からすると、拡大再生産ができない状態なので、既存のラインを別の用途に活用するなど、発想の転換が必要かと考えます。</p> <p>例外として、拡大再生産が可能な市場は、文化に即したソフトウェア業界が</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>行政改革の推進にあたっては、これまでもスリム化・効率化などに関する様々な取組を行い、一定の成果をあげてきたところです。今後、これまで以上のスピードで社会情勢の変化が予想される中、行政課題に適切に対応していくためには取組を継続する必要があると考えています。</p> <p>ご意見にありますとおり、PFI を含む PPP に関しては行政運営の有効な手法と考えており、本市では「春日部市 PPP 活用指針」を定め、積極的な適用拡大を目指しています。これまで、PFI による小中学校普通教室等のエアコン整備を実施したほか、今年度は、旧春日部市商工振興センター跡地の活用にあたり、事業用定期借地権の設定による施設整備に係る事業者を選定したところです。</p> <p>なお、本大綱（案）では、「民間活力の導入による効果的な施設管理の実施」の取組の中に、PPP の活用が含まれており、時代の変化に対応した持続可能な行政運営に取り組んでまいります。</p>

<p>思い付くのですが。 それは収益が少ない上、開発より保守 運営にコストのほとんどが割かれてし まうでしょう。</p> <p>打開策を PFI として提示したいところ です。</p>	
--	--

参考：「第4次春日部市行政改革大綱（案）」に対する意見の募集期間
令和4年11月1日（火）から令和4年11月30日（水）まで